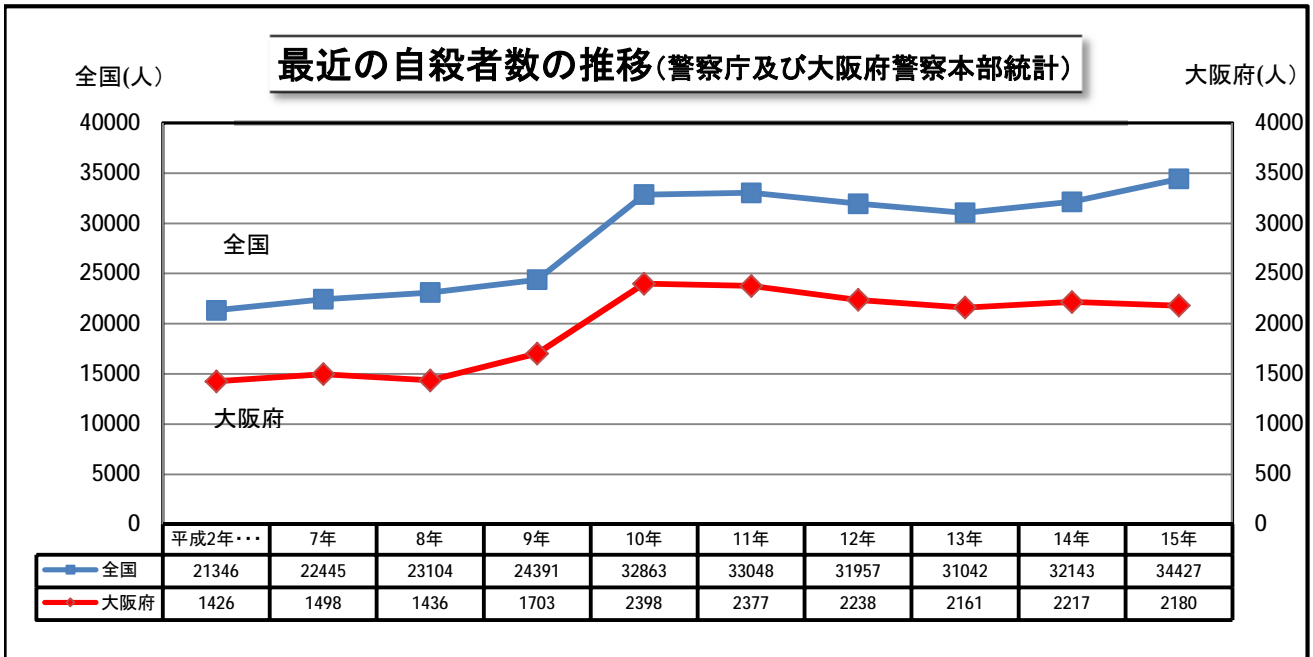
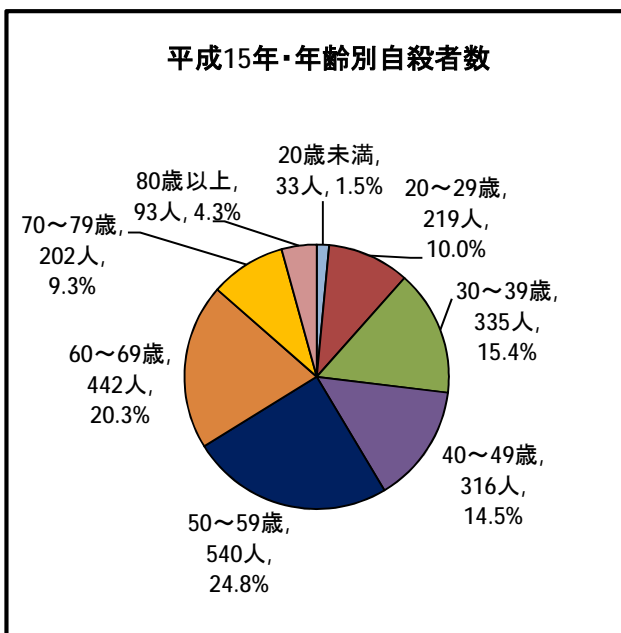


大阪府の自殺の概要<平成15年>

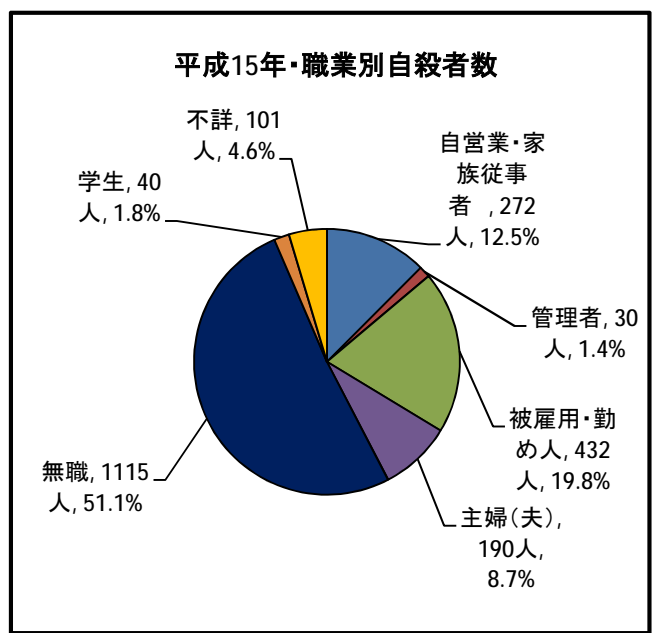
※警察庁及び大阪府警本部統計



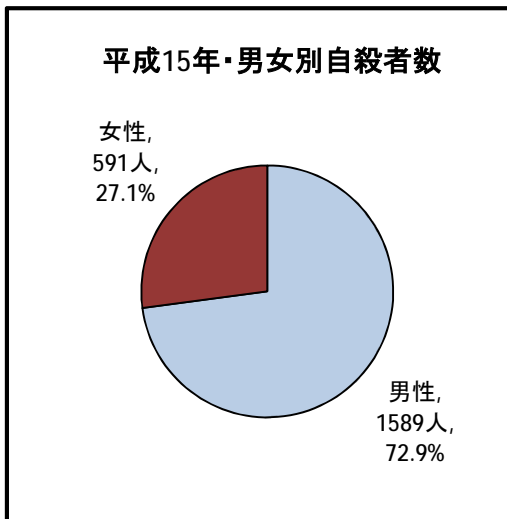
全国の平成15年の自殺者数は、30,000人を超えた平成10年以降、高い水準が続いています。大阪府においても、国と同様の傾向にあり、2,000人を超えた平成10年以降は、若干の変動はあるものの横ばい状態が続いています。



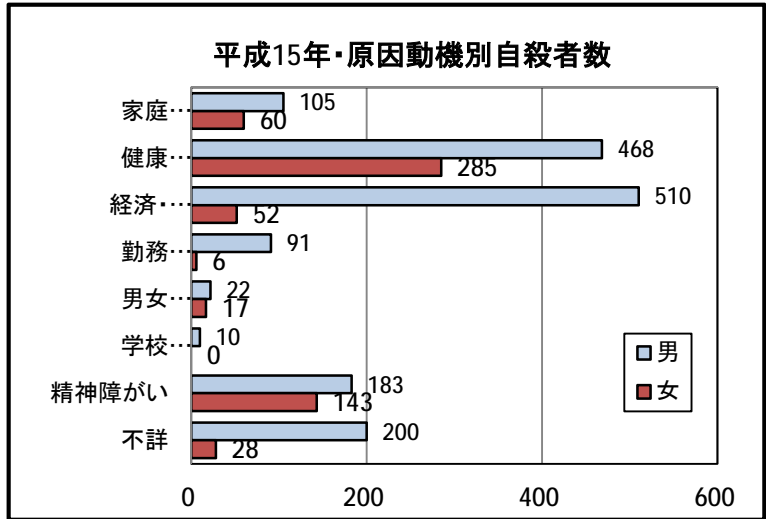
大阪府の平成15年の年齢別自殺者数の割合は、50代が540人(24.8%)と最も多く、次いで60代が442人(20.3%)、30代が335人(15.4%)、40代が316人(14.5%)となっています。



大阪府の平成15年の職業別自殺者数の割合は、「無職」が1,115人(51.1%)と半数以上を占めており、次ぐ「被雇用者・勤め人」432人(19.8%)の2倍以上になっています。



大阪府の平成15年の男女別自殺者数を見ると、男性が1,589人(72.9%)、女性が591人(27.1%)と男性が女性の2.5倍以上の数になっており、全国と同様の傾向にあります。



大阪府の平成15年の原因動機別自殺者数は、男性は「経済・生活問題」が510人と最も多く、次いで「健康問題」が468人となっています。女性は「健康問題」が285人と最も多く、次いで「精神障がい」が143人となっており、原因動機は男女によって異なります。